

製本のススメ

Vol. 212

何年かぶりに「春爛漫」という表現をしても良い気持ちになりますね。新学期が始まりました！街の中が新人さんで溢れています。ピカピカのランドセルや制服 今日から社会人ですねと分かるスーツ 期待と不安が沢山のワクワクしますね。

今回は**ネットとリアル(実物)**の話し

最近 持ち込まれる印刷物に残念な思いをすることが多くなりました。とりわけ紙の厚みに関しては 印刷営業の知識が不足です。厚みも種類も多い紙の世界ですから覚えきれないのは仕方がないと思いますが せめて加工会社へ尋ねてもらえば良い方法やアイデアが出る事は多くあります。合わせて実際の紙を加工会社へ見せてもらえば 加工が可能か不可かもわかります。季刊誌の様に毎回同じ紙で印刷しているならば別ですが そういった物はネット印刷でも十分に対応出来る時代です。

ではネットやAIに出来ない事とは何でしょう。それは**豊かな感性とコミュニケーション**だと思います。ネット社会が浸透し 現在は小学校でもオンライン授業が出来て何でも印刷して製本するという時代は変わりつつあり **便利な物は浸透が早いのですが使い込んでみると 実は不便さが有る事もわかり始めました。**つまりネットと紙の住み分けが出来始めていると言えます。通販のカタログはその代表的な例です。多くの情報を幅広く知らせるには やはり冊子が便利で消費者の印象に留まりやすいそこから目的の商品情報へはネットで詳しくみる事が出来る。つまり目次の使われ方で **双方が担う役割分担**です。それでも店頭に来てくれるのは、**個々の疑問点などを実物で確認し相談しに来るのです。**

汎用物は いつもの紙でいつもの印刷でも良いのです。しかし手に取って読みたい物は 一味違う仕上がりでなくてははいけません**そこがリアル(実物)の良さ**なのです。冊子のイメージに沿った紙選びが特別な 1冊への第一歩へつながります。**同じ紙・同じ分量でも冊子の大きさで 硬く感じ めくりにくい場合も多くあります。**また加工方法によっては紙の風合いを壊す場合も有ります。折角の本が台無しになるのは顧客のみならず加工側としても極めて残念です。手に取って馴染みよく また開きやすい本は読みやすくストレスを感じさせません。紙の厚みは重要なのです。そして その感性がリアル最大の強みです。



Tea break

既にお知らせさせて頂いておりますが、1月請求分より最低基本価格と包装手数料の見直しをさせて頂いております。社内加工賃については4月分請求分(20日×は3月21日・月末×は4月1日)より見直しをさせて頂きます。何卒ご理解を賜りたく存じます。

弊社HPは www.isekiseihon.com

facebookは「井関製本の日々」

by (株)井関製本